

# 創

—第86回—

時代は読むものではなく  
切り拓くもの

上人ヶ浜公園が新しく生まれ変わります。パークPFIという手法を使い、民間事業者と協力して市民の皆様にも観光客にとっても魅力のある空間となる予定です。

今、市民の皆様の意見を聞きながら選定されたTKPという会社と詳細を詰めています。TKPは都内を中心に事業展開をされている上場企業で、社長は大分県出身の河野さんという方です。大分トリニータのスポンサーなどもされています。

パークPFIについてはこれまで市は積極的に取り組んできており、別府公園のスターバックス設置など既に3例、上人ヶ浜公園が4例目の事業です。パークPFIを活用し、市としても十分に活用されていない公園を魅力的な空間に変える事ができますし、民間にも良い提案を出し



別府市長

長野 恭紘

ていただく事で、本来税金を投入して行うべき整備や管理を事業者にお願ひする事ができます。

しかし市民の財産ですから、行き過ぎた開発や公園環境の破壊とならないよう市がしっかりと市民の皆様の意見を取り入れ事業全体を調整します。上人ヶ浜についても、原則として松の木は切らない、緑の総量は変えないなどの制約を課しています。

また、むやみやたらとパークPFI事業を活用する訳ではありません。過去の例をみていただいてもわかる通り、更なる魅力創出や高付加価値化の為であり、通常の公園整備とは区別していますのでご安心ください。

決断すれば反対があるのは当然です。しかしそれを恐れ何もしないなら市長の意味はありません。未来に誇れる仕事をするために私はここにあります。空気を読むことも大事ですが、時代を切り拓く使命を果たします。今後も説明を尽くしつつ、堂々と政策を進めていきます。

(6月8日執筆)

## フォトべっぷ



**登山者の安全を願って**—5月14日、本格的な登山シーズンの幕開けとなる由布岳山開き祭が開催されました。来場者先着千人に記念品の帽子が配布され、自衛隊音楽隊の演奏を楽しみました。安全祈願祭が行われ、多くの登山者が山頂を目指しました。



**別府の魅力**を全国へ—6月2日、ヴェルスバ大分に「ツーリズム別府大使」を委嘱しました。実相寺グラウンドを練習拠点とし、住まいを別府に移す選手やスタッフも増え、地域に一層根付いたヴェルスバ大分の全国での活躍を期待しています。



**未来の巨匠**—コロナ禍でチャンスをつかめずいた『卵』たちに、チャンスの場をつくり、孵化するまでのプロセスを温かく育てるプロジェクト「BEPPU EGG CITY」が開催されました。優勝者の作品が別府市ふるさと納税の返礼品となる他に類を見ない新しい取組です。



**最強タッグ**—温泉を主軸とした広域観光ルートの連携により、旅行者増と地域の成長・発展を目的に大阪観光局と連携協定を締結しました。締結式後は、愛媛県松山市長を迎え、温泉シンポジウムを開催し、3者による今後の観光立国の推進に向けた宣言をしました。